

170101派遣業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	15~16	派遣先工場内でパック詰めのお餅を冷凍庫へ移動するため、トレー（縦50cm、横30cm、高さ10cm、重さ約2kg）に並び入れて、台車に19段積み上げる作業を連日していたところ、腕が段々と痛くなり、病院で右上腕2頭筋断裂と診断された。	49	19	921	100 ~ 299
2	2017	12	14~15	派遣先事業所の管理栄養部下膳室の食器洗浄機前で、食器消毒保管庫に食器の入ったかごを入れたあと、食器洗浄機から出てくる食器を取ろうと移動した際に、滑って尻もちをつき、背骨付近を圧迫骨折した。	66	2	417	30~ 49
3	2017	12	23~24	集塵機の清掃作業で、エアブロー中にバランスを崩して転倒し、右手を床についた際に右手首を骨折した。	61	2	391	50~ 99
4	2017	12	19~20	作業中、トイレに行きたくて急いでいたところ、出入り口付近の床が濡れていたため滑って転倒し、慌てて左手をついたが、左手も滑り、左肩を強打して負傷した。	48	2	419	100 ~ 299
5	2017	12	16~17	業務で郵便局に郵便物を出しに行った際、道路の端を歩行中、張っていたロープに躓き転倒し、路面に左膝を強打して受傷し、救急搬送された。	51	2	417	100 ~ 299
6	2017	12	9~10	製作所本工場内で、60tプレス機（9号機）にて重機フィルターの部品のプレス加工中、手動ですべきところを足踏みに切り替えてプレス作業をしていたところ、製品を金型に置いた瞬間、手を引く前に誤って足を踏んでしまい、プレスが下りてしまった。	20	7	154	100 ~ 299

15	2017	12	18~19	構内に宅配便（小荷物）の引き取りのお客様が来て、構内から荷物を事務所に運ぶ途中、構内にあった台車に気づかず、台車に躓いて転倒した際に右手首を骨折した。	63	2	362	100 ～ 299
16	2017	12	21~22	作業場構内に到着後、下車してセンター内へ向かう道中において、駐輪場付近を通過中、原付バイクのエンジンオイルのような液体が地面に漏れており、それで足を滑らせて尻もちをつき、救急車で搬送された。	39	2	417	100 ～ 299
17	2017	12	11~12	事業所工場内において機械清掃中、上部に登るため機械に足をかけたところ、不安定だったためにバランスを崩し、上部にあったパイプにつかまった際、右肩を負傷した。	52	19	921	100 ～ 299
18	2017	12	15~16	製造終了後の機械清掃中に、充填包装室内の架台上から備品・パーツを両手に持ってステップを降り、床に足をついた際に右足がそのままスリップし、転倒した。転倒した際に、左足腓骨を負傷した。	45	2	417	100 ～ 299
19	2017	12	13~14	酒粕を包丁で切る作業が終わったあと、テーブル上の酒粕の残粉を片づけていたところ、包丁をテーブルに置いたまま作業したため、包丁に手が接触し、右手人差し指第2関節を切った。	31	8	364	50～ 99
20	2017	12	16~17	作業現場にて、パレットに積まれていた梱包前の商材をパレットごと動かそうとした際に、近くにあった空のパレットに差しであったハンドリフトを使おうとした。抜けなかったために他の作業員が代わり抜こうとし、本人にパレットの上に乗って押さえてもらっていたとき、ハンドリフトを引いた反動でバランスを崩し、右手をついて転倒した。	59	2	379	100 ～ 299
21	2017	12	17~18	倉庫内にて片付け作業中、屈まなければならない場所にオーブンレンジを置いたあと、頭を上げた際に、設置されていたクランプで頭を強打し負傷した。	47	3	391	30～ 49
				業務のため駐在している建物に隣接する駐車場にて、駐車していた自身の車両後方から運転席側に歩いている際、照明は届い				500

22	2017	12	17~18	ていたが、足元は車両または自身の影が影響して車止めに気がつかず、躓いて転倒した。	45	2	419	~ 999
23	2017	12	4~5	店内を巡回中にお客様に抱きつかれ、肋骨を骨折した。	25	90	911	1~9
24	2017	12	18~19	お客様の傘を買うため、地下の店舗から階段を上って外に出たときに、店舗と歩道の境目の大理石の床が雨で濡れていたため、足を滑らせ転倒し、左足を負傷した。	31	2	413	1~9
25	2017	12	10~11	派遣先にて、部品にハンドラップを使用して手首を捻りながら梱包する作業を行っていた（部品の重量は5kg~15kgと様々）。しばらくして両腕に痛みが出始め、その後、痛みが酷くなり病院に行き、頸肩腕症候群と診断された。3年前に首の神経を痛めており、今回、手首を捻りながら作業したことで首にも負担がかかり、痺れが出たのではないかと診断された。	41	19	611	100 ~ 299
26	2017	12	13~14	個人宅で、60cmの脚立の1段目（約10cm）に足をかけ跨った状態で窓の拭き掃除をしていた。降りようとしたところ足がもつれて脚立ごと転倒し、右肘・右膝・右側頭部を打撲した。	46	1	371	50~ 99
27	2017	12	9~10	工場1F米置き場において、原料米の整理をしていたとき、フレコン（お米の台車）を移動させようとした際にバランスが崩れ、重さ約400kgの米袋が倒れて、右足に当たり、大腿骨を骨折した。	58	5	611	—
28	2017	12	10~11	コピー機の搬入作業で、屋内からトラックへ運んでいる際に10cmから15cmの段差を越えようとして左足を滑らし、コピー機を左足の上に落とし地面と挟まった状態になり骨折した。	47	4	611	100 ~ 299
29	2017	12	14~15	路上にて、自販機配送助手の業務中、トラックの車道側のスライドドアを開けて、積荷である飲料商品をピッキングおよび荷卸し作業をしていた。通常通りトラックの車道側でピッキング伝票を見ながら作業していたところ、賃走中のタクシーが客を降車させようとして車線を割って入り、タクシーのサイドミ	46	17	231	30~ 49

37	2017	12	14~15	自動車部品の曲げ加工の作業中、機械と部品の上に指先を入れてしまい、指を挟まれた際に左手中指と薬指を負傷した。	30	7	169	30~ 49
38	2017	12	4~5	仕分作業中、鉄骨（高さ30cm）に右足を乗せて乗り越え、左足から空パレットに着地した際、パレットの天面の窪みに躓いて左足首を捻り、左肘と左手首、そのあと左側頭部を床にぶつけた。	46	2	417	50~ 99
39	2017	12	9~10	工場で、当社従業員の派遣社員が研磨した自動車部品（大きさ15cm程の円盤の真中に円筒状の突起がある）を当該機械から抜こうと力を入れたとき、横で稼働していた機械の研磨するタップ（約60cm離れている）に右手人差指と中指の間が当たり負傷した。	46	8	153	300 ~ 499
40	2017	12	15~16	派遣先工場にて、製品を運搬する台車を2人で2台直立に並んで運搬しているときに、後ろの台車の車間距離をつめた状態で曲がろうとし、スピードを落とした際に右踵部分に台車の1番下のフレームが接触し、右膝が自分で運搬していた台車の2段目のフレームに接触した。	61	3	362	100 ~ 299
41	2017	12	15~16	冷凍倉庫内で、休憩室へ移動するために歩いていたときに、ゆっくり歩かなくてはならない環境の中、移動を少し急いだことにより転倒し、その際に右手を強くついてしまったため、右手首を負傷した。	43	2	417	500 ~ 999
42	2017	12	1~2	昼勤務の残業時間帯に、貨物機に貨物用パレットを載せていた。載せたパレットを固定するため、センターロックを掛けようとした際、パレットが動き出し、本人の方に近づいて来た。パレットをかわすことができず、足の甲の上にのり負傷した。	36	6	611	100 ~ 299
43	2017	12	8~9	ロッカー室に向かう階段を下りている際、靴が挟まり、転落した。	54	1	413	100 ~ 299

44	2017	12	16~17	派遣先である中央センター内にて、食品のピッキング作業に従事中、通路を移動する際に、製品の袋を7袋（合計約2.5kg）抱きかかえるように持っていたため、足元が死角になり、棚から10cm程はみ出していた段ボール箱に躓いて転倒し、右膝を負傷した。	51	2	379	100 ～ 299
45	2017	12	5~6	派遣先の空箱置場にて、空箱整理の作業中、派遣先従業員の運転するフォークリフトが、被災者に向かって後退し、接触した。その際、被災者の右足に後輪タイヤが乗り上げて受傷した。	38	6	222	100 ～ 299
46	2017	12	14~15	客先正門付近にて営業活動で歩行中、道脇の段差を踏み外し、左足踝辺りを損傷した。	37	19	418	100 ～ 299
47	2017	12	15~16	鑄造工場にて、自動車部品を製造する鑄造ラインで、自動注湯機の作業中、自動注湯機が奥の方まで移動している状態でレール上に降り、鑄型の周りにこぼれた溶湯をハンマーで除去していた。すべての注湯を終えた自動注湯機が元の位置に戻ってきたが、警報音に気づくのが遅れ、待避行動をとったが間に合わず、自動注湯機とデッキの間に挟まれ負傷した。	31	7	169	100 ～ 299
48	2017	12	16~17	派遣先にて、鋼材のリコイラー作業に従事中、巻き付け作業が終了し、コイルカー（コイルを載せた台車）が機械から離れる際、ドラムサポート（巻き付け作業中に芯を支える安全バーで、機械の出口側に設置されている）が上がったままコイルカーが動き出し、ドラムサポートに引っ掛かったコイルが奥へ抜けそうになった。被災者が咄嗟に右手で奥側のコイルを押さえたとき、奥側に設置された転倒防止バーとコイルに環指および小指を挟まれ受傷した。	24	6	611	100 ～ 299
49	2017	12	18~19	作業後に清掃する際、バケツにお湯を入れ、蛇口を閉めたとき、誤ってお湯をこぼし、右腰にかかってしまった。	49	11	341	30～ 49

50	2017	12	20~21	派遣先において、帰宅途中の事故である。体調不良のため早退し、自家用車で帰宅しようと駐車場から工場出口に向かって走行中、めまいがしてハンドル操作を誤り、空調の室外機に衝突した。	32	3	231	300 ~ 499
51	2017	12	12~13	派遣先工場内にて、包丁で余計な脂を削ぎ落とした豚肉を機械に投入する際、15kg位の豚肉を機械に投入し終え、再度肉を補充しに行く途中、床に落ちていた切れ端と脂を踏んで、腰から転倒した。その際、咄嗟に出した右手を負傷した。	54	2	416	300 ~ 499
52	2017	12	13~14	派遣先製作所のルームエアコン製造ライン最終作業にて、パネル（350mm、横120mm、奥行300mm、重さ500g）を段ボールから取り出してシールを貼り、キッキングハンガーへ表向きに置く作業で、1日約1000台超分行っていた。数ヶ月前から手首に違和感があるとの申し出があり、別の軽作業に変更するなどして様子を見ながら作業を行っていた。その後、当月作業中に激痛があり、様子を見たが痛みが引かず受診した。	59	99	999	300 ~ 499
53	2017	12	14~15	作業中に空のパレットを取ろうとしたところ、手を滑らせパレットが落下し、右足の親指の上に当たった。	46	4	391	100 ~ 299
54	2017	12	17~18	派遣先工場加工場内で、バンドソーを使用して冷凍マグロの加工作業中、誤って手を滑らせ、右手親指がバンドソーの刃に接触し負傷した（メッシュ保護手袋未着用）。	41	8	165	50~ 99
55	2017	12	9~10	派遣先事業所の倉庫現場内にて、作業開始直前に倉庫内の床面に設置してあるパレットに足が引っ掛かり転倒した。ピッキング作業用のプラスチック箱を片手で持ったまま転んだため、胸部と腕を打撲した。	58	2	379	300 ~ 499
56	2017	12	16~17	本社工場1F野菜原料庫内で、社員と2人で排水桝を清掃するため、排水桝の上のパレットを持ち上げた際に、横に積み上げて	51	4	611	30~

				いた荷が崩れてきた。それを手で支えようと持ち上げていたパレットを放したために、足の上に落下し受傷した。				49
57	2017	12	5~6	派遣先の食堂厨房内において、開店準備をする際、厨房内を移動中、側溝の金網の上で左足が滑り、転ばないように力を入れたところ、左足首を捻り負傷した。	66	19	417	100 ~ 299
58	2017	12	16~17	作業終了後、手を洗うため作業場から手洗場に向かう途中、2cm程の段差に躓き、前に倒れた。	57	2	418	300 ~ 499
59	2017	12	11~12	クリーンルーム内で、2段式の踏み台に乗った状態で装置内清掃作業を実施した。清掃作業終了後、2段式の踏み台から降りる際（後ろ向きで降りる状態）、1段目（高さ60cm）の踏み台から足を踏み外し、そのまま後ろ向きに転落し、後頭部を打撲した。	54	1	371	500 ~ 999
60	2017	12	14~15	バス室内の後床板シール塗布後、シールガンを置き場（左斜め前）に戻そうと、左足を引き、前に進んだ際、左側床のトイレ穴に左足が落ち、受傷した。作業ルール上、トイレ穴には仮フタを置くことになっていたが、守られていなかった。	30	1	414	1~9
61	2017	12	10~11	倉庫内にて、梱包された製品を台車からパレットに移す作業をしていた。台車の製品を全て移動した時、右足を台車の上に載せたところ台車が動き、右足を滑らせた時、左足に全体重がかかり、左大腿骨頸部を骨折した。	68	2	362	100 ~ 299
62	2017	12	9~10	設備をビニールシートで養生する為、梯子を使用し、設備上のぼろうとした所、梯子が倒れ、被災者も同時に高さ1.7mから転落し、頭を強打した。	34	1	371	100 ~ 299
63	2017	12	9~10	自動車部品製造業務に従事しているとき、午前休憩を終え椅子から立ち上がったところ意識を失いその場に倒れこんだ。裂傷の部位・形状から、倒れた際に顔から倒れこみ、掛けていた保護メガネにて右頬に受傷したと推測される。意識を喪失し	41	90	911	300 ~ 499

				た原因については不明であり、災害性はない。				
64	2017	12	10~11	事務所内にて、書類ファイルを書庫へ戻す為自席から移動した所、床にあるコンセント突起物に左足が突っかかり転倒しないように踏ん張った所、以前に負傷して治療中の左足首を再度捻り負傷した。	33	2	417	300 ~ 499
65	2017	12	16~17	被災者（以下「甲」）は、派遣先において、機内食セット業務に従事していた。甲は、飛行機から返却された空のカートを、作業エリアへ搬送中、カートを4台並べて押しながら搬送していたところ、右手前のカートが車輪不良によりバランスを崩したため、持ち上げようとしたところ、左手前の1台もバランスを崩してしまった。甲は2台のカートが支えきれずに転倒し、倒れたカートの車輪ストッパーを左前脚部に受けて負傷した。	47	2	362	100 ~ 299
66	2017	12	14~15	派遣先において、洗浄作業を行うため、切断したガラスインゴットを2人でばらす作業中、切断したガラスインゴットを固定用専用板の端まで2人でずらしていたところ、被災者がバランスを崩し専用板の端からガラスインゴットがずり落ちた際、鋭利になっている切断面で、右手環指及び右手小指を負傷した。	38	8	529	100 ~ 299
67	2017	12	10~11	勤務先施設内で、経管栄養をする為、ベット上の利用者の姿勢を直そうと利用者の頭部側より両脇に腕を入れ、持ち上げた際に痛みが出た。	52	19	911	30~ 49
68	2017	12	18~19	就業先の利用者居室にて、利用者を食堂へ連れて行くためベットから車椅子へ移動しようとしたところ、利用者が急に仰け反ったため腰に激痛が起こった。激痛が起こった後、めまいがし動けなくなってしまう、その後腰の痛みが強くなった。	53	19	911	100 ~ 299
69	2017	12	15~16	入居者を車椅子からベッドへ移乗する際、入居者の両脇に自身	42	19	921	300 ~

				の手を差し入れて持ち上げた瞬間に腰に痛みが走った。				499
70	2017	12	7~8	出張先関連会社で荷降ろしの業務に就いていた。14バースにて車両とプラットホームにスロープを使い、荷降ろし業務（入荷）を行っている際、商品が目一杯に積載された背丈の高いカゴ車であったため、荷降し途中でカゴ車が倒れかかってくる形となり、押し潰されるように下敷きとなってしまった。	49	5	362	10~ 29
71	2017	12	19~20	納品時、トラックの庫内で納品準備を行っていた際、カゴ台車のロックが外れてしまい、道路に傾斜があったため、カゴ台車が大きく動き、カゴ台車と庫内の壁の間に挟まってしまった。痛みがあったが問題ないと思い作業を続け、その後も出勤していたが、勤務中に痛みが酷くなり早退し、病院にてレントゲンを撮ったところ、骨折していたことが発覚した。	45	6	362	500 ~ 999
72	2017	12	5~6	配送センターに於いて空置場に接車後、空番重をトラック荷台からバースへ手鉤棒を使用して後ろ向きで引きずっている際に、バースが雨で濡れていて足が滑り転倒し、番重20枚が受け身を取った右手に落下し、右手中指開放骨折を負った。	39	2	416	—
73	2017	12	14~15	施設浴場脱衣所で、入浴が終わった利用者の更衣介助中、車いすに座った利用者によりリハビリパンツをはかせるため車いすに座った利用者の左足側でしゃがんだ姿勢をとっていた時、突然、利用者が被災者の右耳付近を手で強打したことにより、受傷した。利用者は認知症を患っている方で、理由は不明である。	48	99	911	100 ~ 299
74	2017	12	10~11	派遣先のトラックで配送助手作業をしていた。トラックが停止し、運転手がトラックを離れ配達中の時は、助手席を下りて荷台に上がり整理作業をするが、助手席に戻るためトラック荷台からステップを使い降りる時に、荷台を背に前向きに降りた為、右足をステップから踏み外し落下し、路面へ右足・右肩・	72	1	221	30~ 49

				腰を強打して負傷した。				
75	2017	12	15~16	トラックから供花をおろす作業中、トラック荷台の入り口のところに出ていた突起（ネジの様なもの）に右手人差し指を引っ掛けて切ってしまった。	20	8	221	100 ~ 299
76	2017	12	23~24	7日間の添乗中、オーロラ鑑賞の為、レストランの外階段にて足を滑らせ転倒した。その際、腰と右肩を強打した。	53	1	413	—
77	2017	12	11~12	3階フロアにて、展示物の調整のため、高さ30cm程の什器に靴を脱いで上がり、作業後、靴をはこうとした際に、乗っていた什器の台が滑りやすかったこともあり、足を踏みはずし、転落して足を骨折した。	30	2	416	—
78	2017	12	2~3	倉庫1階荷捌き場で、商品にストレッチフィルムを巻いて梱包している時、フォークリフトが前進して近づいて来ているのが、死角になっており、作業者の右足が走行中のフォークリフト前方に出て、フォークリフトが積んでいた空パレットと作業者の右足親指がぶつかってしまった。	22	6	222	—
79	2017	12	8~9	店内の惣菜の作業場から寿司の作業場に移動する際に滑って転び、右手首を負傷した。当時、床は清掃直後で濡れていて滑りやすい状況だった。	53	2	417	50~ 99
80	2017	12	2~3	スポンジ仕込室入口扉前において、洗浄室で器具を洗い、充填室に器具の入った番重を押して運搬中、前のめりにゆっくり転倒し、両肘と両膝で四つん這いの格好で転倒した。長靴の靴底は滑り止めがなく、ツルツルした状態であった。	47	2	417	100 ~ 299
81	2017	12	15~16	職場の休憩スペースで、ソファに横になっていた状態から起き上がる際に、ソファの端に足を掛けたため踏み外し、足の甲から着地し、強く捻った。	41	19	391	1000 ~ 9999
82	2017	12	22~23	厨房内にて皿洗いの業務をしているとき、足場付近に立てかけてあった鉄板に足をひっかけてしまい、そのまま転倒し、膝を	21	2	521	500 ~

				強打した。				999
83	2017	12	3~4	1階構内Aラインシューターにおいて、一般宅配便仕分け作業中、ゴルフバッグを誤って右足甲に落とし負傷した。負傷した際は痛みはそれほどなかったため、グループ長への報告を怠り帰宅し、自宅に帰宅途中に右足が痛みだし、病院を受診した。その後、痛みと腫れが酷くなり、3日間休み、4日後に本人より報告があり、労災事故が発覚したものである。	53	4	611	500 ~ 999
84	2017	12	9~10	構内において、クールボックスを移動中に、柱とクールボックスの間に右手を挟んでしまい、裂傷・骨折の怪我をした。	70	7	611	500 ~ 999
85	2017	12	9~10	鉄製ドア製造工場内にて、レール据付式のインデックスハンガー（横2m、縦50cm、重量約40kg）に吊り下がっているドア枠の養生をしていた際、誤って体がドア枠に触れて大幅に傾いた状態のままハンガーが動いてしまった。その為、レールからハンガーが外れて落下し、被災者の頭頂部に直撃して負傷した。	21	4	211	100 ~ 299
86	2017	12	16~17	鉄製の手すり（フラットバー板厚約4mm、巾12mmで加工されたもの。高さ約0.8m、長さ約3m、重さ約50kgを2枚）をフォークリフトで作業台の上に載せ、仕上げ作業を行うため1枚ずつずらしたところ、バランスが悪く、1枚が床に落ちた。落ちた板を作業台の脚に不安定な状態で立てかけたまま、もう1枚も落ちないように2名で押さえていたところ、立てかけてあった1枚が被災者の左足甲にあたり負傷した。	29	5	521	10~ 29
87	2017	12	17~18	派遣先である就業先工場内で、2人でガスボンベの整理作業を行っていた際、相手が2本の瓶（1本約100kg）をローラー上で押して渡してきた時に、勢いが強く瓶を掴みきれず、置いてあった瓶との間に指を挟んだ。	28	7	611	100 ~ 299
				就業先にて、業務内容の事で介護主任と打ち合わせをすべく、				1000

88	2017	12	17~18	施設敷地内の寮に出向き、その帰りに同施設の外階段の最後の1段を踏み外し、右上腕部を打ち付けて、同部位を負傷した。	52	1	413	～ 9999
89	2017	12	18~19	食品製造工場内で食材冷蔵庫の肉を餃子加工ラインに2人でカートを手押しで搬送中に冷蔵庫内で足がすべり、腰から床に転倒して負傷した。	32	2	921	100 ～ 299
90	2017	12	15~16	一般家庭ゴミの回収作業の動作によるパッカー車への乗り降り・積み込み作業が原因による腰の痛みと左膝の痛みが発生した。	56	19	611	300 ～ 499
91	2017	12	1~2	宅配便の仕分け作業中、ベルトコンベアーに載っている荷物の向きを直す作業中、荷物を取りそこない床に転倒し、その時に左足大腿骨付近を痛めた。	72	2	416	500 ～ 999
92	2017	12	19~20	作業中に移動する際、階段を使用せずプラットホームより飛びおりた所、着地時に体勢を崩し転んで左ひじを損傷した。しばらく自宅で療養したが痛みが引かなかったため、後日受診し、左ひじ打撲と診断された。	36	3	416	50～ 99
93	2017	12	2~3	工場内、インタミ/LサイドBラインにて、径360mm、厚さ80mm、重さ4kgのアルミ製自動車部品を切削機にて加工作業を行っていて、床に切削油がこぼれて滑りやすい状況で作業を続けていた。品物を機械から取り出す為、一歩踏み出した時に右足首が滑り、右足首を内側に捻って転倒した。	50	2	416	100 ～ 299
94	2017	12	16~17	当社工場内にてプラスチックでできた空き箱を1m程度の距離に対して手で投げて移動させていた際に、後ろに人がいることに気付かず、投げた空き箱が被災者の頭部左側に接触してしまった。被災者は接触した箇所を押さえながら一瞬その場に蹲り、しばらくして立ち上がったものの仕事を中断して帰宅した。2日後、最寄りの病院に行ったところ脳震盪との診断を受けた。	50	6	379	1000 ～ 9999
				冷蔵倉庫内にて、ベルトコンベアに流れてくる宅配物を配送先				

95	2017	12	4~5	毎に仕分ける作業中、宅配物が詰まり直そうとベルトコンベア脇に乗ろうとした所、足を滑らせベルトコンベアの外枠の鋭利な部分に左足甲をぶつけ、靴を貫通し負傷した。	23	3	224	10~ 29
96	2017	12	10~11	派遣先の冷凍倉庫内（マイナス15℃）において、布手袋2枚を重ねて着用し、カップアイスの袋詰め作業を朝から行っていたところ、午前の休憩時に手袋を外すと、指先（右手5本、左手中指・環指）が白く変色し被災した。被災後、若干痛みがあったが、終業時間まで勤務し、翌日になっても痛みが消えず水疱も出来てきたため受診した。	54	11	529	100 ~ 299
97	2017	12	18~19	高圧容器製作所にて、50kg容器をパレットに載せかえる作業中、空いたパレットを本来はフォークリフトによって移動する決まりとなっているものを、忙しさにおわれ、本人の判断で、手作業でパレットを持ち上げ移動したところ足がもつれ、尻餅をついた際にパレットが本人の右足に落ちて受傷した。	39	4	379	50~ 99
98	2017	12	11~12	加工職場にて、ボール盤を使用したタップ加工中に、バイスに挟んだ母材を入れ替える際、回転を停止させないまま行い、誤って右手小指が回転中のタップにまき込まれてしまった。	73	7	152	10~ 29
99	2017	12	13~14	測定室にて、商品の測定作業を終え、テストにかけた商品をゴミ箱に捨てようと椅子から立ち上がった所、めまいを起こし、後方にある別の作業台に右前腕を強打し受傷した。	34	3	419	100 ~ 299
100	2017	12	11~12	作業現場でグラインダーを使って製品を研削していたとき、背後にある製品が入った箱から左手で製品を取り出し、グラインダーの右側にある作業台に製品を載せた際、左手中指がグラインダーに接触し、左手中指を切創した。	60	8	153	100 ~ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）に戻る。](#)